

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	簿記概論 I	
科目基礎情報							
科目番号	0026		科目区分		専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	経営情報学科		対象学年		1		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	(H29) 商業338 新簿記 新訂版 安藤英義 (実教出版)						
担当教員	苗 馨允						
到達目標							
本科目の到達目標は以下の通りである。 (1) 複式簿記の基本的仕組みを説明できる。 (2) 取引と勘定を説明できる。取引の仕訳と転記ができる。 (3) 各種取引の概要を説明でき、仕訳および記帳することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	複式簿記の基本的仕組みがほぼすべて説明できる。		複式簿記の基本的仕組みが概ね説明できる。		複式簿記の基本的仕組みが大抵説明できる。		複式簿記の基本的仕組みがほぼ説明できない。
評価項目2	取引の仕訳と転記がほぼすべてできる。		取引の仕訳と転記が3 / 4 程度できる。		取引の仕訳と転記が3 / 5 程度できる。		取引の仕訳と転記がほぼできない。
評価項目3	各種取引について、仕訳と記帳がほぼすべてできる。		各種取引について、仕訳と記帳が3 / 4 程度できる。		各種取引について、仕訳と記帳が3 / 5 程度できる。		各種取引について、仕訳と記帳がほぼできない。
学科の到達目標項目との関係							
教育目標 (C) ①							
教育方法等							
概要	第4学期開講						
授業の進め方・方法	簿記は、企業における諸活動の一定期間の経営成績や一定時点の財政状態についての情報をさまざまなステークホルダーに対して提供するものであり、社会全体にとっても重要な役割を果たしている。また、簿記が提供する情報は経営活動の過去の実績把握にとどまらず、経営分析や将来予測などの意思決定にも貢献している。本授業では、日商簿記検定3級合格を目標にしながら、商業簿記の基礎を学習する。						
注意点	・現代の経済事情および企業の経営状況を理解するためには、簿記と会計の基本知識は不可欠です。また、簿記と会計の知識を身につけることは専門職への道を開くことができます。そして、将来の就職力をアップすることもできます。本講義を通じて、簿記一巡の流れの中にある様々な取引の仕訳、転記および決算手続きを経て、財務諸表を作成するまでの知識と能力を身につけましょう。 ・毎回授業の内容がつながっているため、復習を継続的に行ってください。次回の授業範囲を予習し、簿記の専門用語の意味などを理解しておいてください。 ・簿記を学習する際には「習うより慣れろ」といわれます。実際にテキストに基づいて、問題演習を行いながら理解していくことが大切です。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス		・シラバスを通じて、学習の意義や授業の進め方、および評価方法などを説明できる。		
		2週	現金と預金①		・簿記上の現金および現金過不足の処理ができる。 ・当座預金と当座借越に関する取引を仕訳できる。		
		3週	現金と預金②		・現金過不足に関する取引を仕訳できる。		
		4週	商品売買①		・商品売買取引に関する分記法と三分法を用いて、会計処理ができる。		
		5週	商品売買②		・売上原価および売上総利益の算定方法ができる。		
		6週	商品売買③		・商品有高帳を作成できる。		
		7週	売掛金と買掛金①		・売掛金と買掛金の処理ならびに、統制勘定と人名勘定を用いて、会計処理ができる。		
		8週	売掛金と買掛金②		・売掛金元帳と買掛金元帳を作成できる。		
	4thQ	9週	手形取引①		・約束手形の特徴や処理方法を説明できる。		
		10週	手形取引②		・手形取引に関する会計処理ができる。		
		11週	手形取引③		・手形裏書譲渡と手形割引に関する取引を会計処理ができる。		
		12週	売買目的有価証券		・株式や公社債などの有価証券の取得、売却および期末評価に関する会計処理ができる。		
		13週	固定資産①		・固定資産の取得、売却に関する会計処理ができる。		
		14週	固定資産②		・減価償却の概念を説明でき、会計処理ができる。		
		15週	定期試験		・各種取引の仕訳、及び帳簿作成に関する試験問題を解ける。		
		16週	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施		・解説を通じて、間違ったところを説明できる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験		小テスト		相互評価・態度		合計
総合評価割合	75		20		5		100
基礎的能力	20		5		0		25

専門的能力	20	10	0	30
思考・推論・創造への適用 力	35	5	5	45